

登録コード:MH181200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	看護方法論 (看護過程)【22M以降】 Methodology of Fundamental Nursing III (Nursing Process)		
担当教員	小林 千世 他 浅野 美礼・山口 大輔・上原 文恵		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/2年 前期 金曜・1時限 金曜・2時限		
単位数、講義室	2単位	保健学科311講義室 看護学実習室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護		
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		基礎的・専門的な知識と技能 医療機関での入院加療中の対象に、看護を提供する際に必要な基礎的な看護過程の展開方法を理解する。
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		科学的探求力 対象の個性に対応して根拠を明確にして看護を提供するために、身体的側面を客観的に理解するフィジカルアセスメントの方法や健康上の問題を予防・解決・緩和するための看護過程を展開する方法を理解する。
授業で学べる「テーマ」	その他		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	看護の実践に必要なフィジカルアセスメントと看護過程の展開が実施できるように、基本的な進め方と必要な基本的な知識について、講義とグループワーク、演習を通して学習する。人体の構造と機能・・・で学んだ知識を活用して身体各部位の構造や機能を系統的に観察する方法、基礎看護学実習での経験をふまえて客観的情報を得る手段(問診・視診・聴診・触診・打診)やフィジカルアセスメントの方法を学習する。 看護過程は、事例の疾患の状態を把握したうえで、フィジカルアセスメントやゴードンの機能的健康パターンの枠組みを用いて看護問題を明らかにするプロセス、問題を解決するための計画を立案する方法を学ぶ。 本授業は教員の医療機関における看護師としての実務経験を生かして講義を行います。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。		
授業計画	第1回(4月10日金・1)ガイダンス、看護過程の基礎知識：看護過程とは(小林) 第2回(〃 金・2)看護過程の基礎知識：看護過程の展開方法、看護過程と看護理論、看護問題の種類 課題の説明(小林) 第3回(4月17日金・1)看護過程の基礎知識：看護過程の展開とフィジカルアセスメント、看護師のフィジカルアセスメント(山口) 第4回(〃 金・2)看護過程の基礎知識：機能的自立度評価・Baethel Index、フィジカルアセスメントの方法(山口) 第5回(4月24日金・1)看護過程の基礎知識：看護過程の一般理論、ゴードンの機能的健康パターン、データベース、データの情報への変換とアセスメント(小林) 第6回(〃 金・2)看護師のフィジカルアセスメント(小林) 第7回(5月8日金・1)フィジカルイグザイム：視診・触診・打診・聴診(小林) 第8回(〃 金・2)フィジカルアセスメント：胸部(循環・呼吸)課題1の成果報告(小林) 第9回(5月15日金・1)フィジカルアセスメント：意識レベル・認知・感覚器、小脳機能・異常な反射 課題1の成果報告(小林) 第10回(〃 金・2)フィジカルアセスメント：腹部・排泄・栄養・代謝・運動機能 課題1の成果報告(小林) 第11回(5月22日金・1)フィジカルアセスメント演習：フィジカルイグザミネーションの基本(全教員) 第12回(〃 金・2)フィジカルアセスメント演習：〃 第13回(5月29日金・1)フィジカルアセスメント演習：附属病院看護師のフィジカルアセスメントの実際 第14回(〃 金・2)フィジカルアセスメント演習：〃 第15回(6月5日金・1)事例の看護過程：事例紹介、疾患の病態と治療の理解、入院までの経過、入院後の経過の理解、治療目標、退院後の生活 記録用紙 (小林) 第16回(〃 金・2)事例の看護過程：健康知覚-健康管理・栄養・代謝のアセスメント 記録用紙 (山口) 第17回(6月12日金・1)事例の看護過程：排泄・活動・運動・睡眠・休息のアセスメント 記録用紙 (山口) 第18回(〃 金・2)事例の看護過程：認知-知覚・自己知覚-自己概念・割-関係・セクシャリティ-生殖・コーピング-ストレス・価値-概念のアセスメント 記録用紙 (小林) 第19回(6月19日金・1)事例の看護過程：情報の総合、看護問題の整理 記録用紙 (小林) 第20回(〃 金・2)事例の看護過程：看護問題の統合 記録用紙、問題リストの作成 記録用紙 (小林) 第21回(6月26日金・1)成果報告:記録用紙・・・(全教員)事例の看護過程：役(小林) 第22回(〃 金・2)成果報告:記録用紙・・・(全教員)事例の看護過程		

授業計画	の展開：情報の総合、問題の整理・問題リストの作成(小林) 第23回(7月 3日金・1)看護計画の立案方法 記録用紙 (小林) 第24回(" 金・2)実施評価の方法 記録用紙 (小林) 第25回(7月10日金・1)事例の看護過程：立案した計画の実施(ロールプレイ)・評価・展開(全教員) 第26回(" 金・2)事例の看護過程： " 第27回(7月17日金・1)サマリーの作成 第28回(" 金・2)看護過程のまとめ 第29回(7月24日金・1)課題レポート：脳梗塞事例14日目のアセスメント,問題リスト,計画立案(全教員) 第30回(" 金・2) " (全教員) 第31回(7月31日金・1)筆記テスト・授業アンケート(小林)
授業の進め方	本授業は事前課題、講義、グループワーク、演習などによって構成され、能動的学習による理解の深化を目指すために、事前課題やグループワークの成果に重きを置いて、授業を展開していきます。各自がグループワークにおける役割と責務を果たすために事前課題に取り組むことが求められます。 フィジカルアセスメントは、演習で学生同士でフィジカルイグザミネーションを実施し、フィジカルアセスメントを行います。看護過程は、事例を用いて学生個々に展開します。事例を用いて看護過程の展開を実際に進める。そのために必要な基本的な知識を学習した。事例や記録用紙はe-ALPSにアップします。
テキスト、教材、参考書	テキスト： ・ はじめてのフィジカルアセスメント第2版 メヂカルフレンド社 ・ 基礎看護技術 医学書院 ・ ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 ヌーベルヒロカワ 参考書： ・ フィジカルアセスメントが見える メディックメディア ・ 看護が見える 看護過程の展開 メディックメディア ・ 根拠がわかる疾患別看護過程第3版 南江堂 ・ 根拠がわかる症状別看護過程 南江堂
成績評価の方法	筆記テストの結果、課題レポートの内容に基づいて総合的に評価します。 総合評価の配分は、筆記テスト40%、課題レポート40%、事前課題10%、コメントペーパーの内容10%です。 筆記テストではフィジカルイグザイムの基礎知識、フィジカルイグザイムによって得られる情報の判断に必要な知識の理解度を評価します。 課題レポートでは、看護過程の理解の到達度を評価します。 事前課題及びコメントペーパーは、講義への取り組みを評価します。
成績評価の基準	総合的評価の成績判定基準は、秀：100～90点、優：89～80点、良：79～70点、可：69～60点です。 筆記テストでは、得点率で到達度を評価します。60%未満の到達度の場合再試験を行い評価します。 得点率が90%以上であれば「90～100%到達」 得点率が80%以上であれば「80～89%到達」 得点率が70%以上であれば「70～79%到達」 得点率が60%以上であれば「60～69%到達」 事前課題、コメントペーパーと最終課題レポートの判定は、事前課題、講義への取り組み、筆記試験、課題レポートの内容に基づいて評価します。 到達度が60%未満の場合は、課題を追加して再評価します。 課題に対応した適切な内容である。 自分の考えを説明できている。 自分の考えの根拠を説明できている。 指定された書式であり、記載項目に不足がない。 既存の内容に依存していない。 期限内に提出する。 ～ を満たしており、自分の考えが説得力を持って明確に説明されている特出したレベルであれば「90～100%到達」。 ～ を満たして、適切に自己の考えをまとめたレポート内容の場合は「80～89%到達」。 ～ を満たしているが、～ にやや課題が残る場合は「70～79%到達」。 ～ を満たしているが、～ に課題が残る場合は場合は「60～69%到達」と評価します。 総合して、秀：100～90点、優：89～80点、良：79～70点、可：69～60点と評価します。
事前事後学習の内容	本授業の単位取得には90時間の学習であるため、以下の学習時間が必要になります。 授業時間60時間(2時間×30回)+事前・事後学習30時間(1時間×30回)=90時間 ・ 事前学習

事前事後学習の内容	講義の前日までに連絡するので講義開始までに取り組み、e-ALPSの課題提出フォルダにアップしてください。提出した課題を閲覧できるように準備して授業に参加してください。事前学習の内容は、フィジカルアセスメントや看護過程に関する基本的用語や知識に関する調べ学習と、事例に関する看護過程の展開の記録です。 ・事後学習 講義の最後に、毎回の講義内容に関する課題について説明します。課題の内容に沿ってレポートにまとめ、eALPSに提出してください。 また事例の看護過程の展開記録を講義終了後に提出します。
学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	・ヘルスアセスメント及び看護過程は、基礎看護学実習 において受け持ち患者に実際に実施する看護技術です。高い到達度を目指して主体的に学習し、判断する力を身につけてください。 看護過程の展開では、困難を感じることもあるかもしれません。質問や疑問、相談があれば随時教員が対応します。 ・オフィスアワー：随時対応しますが、メールなどで事前に連絡してください。 小林メールアドレス：ckobaya@shinshu-u.ac.jp 小林千世研究室：保健学科中校舎4階 山口大輔助教も対応します。